

# 日本図書館情報学会会報

No.154

2014年6月

日本図書館情報学会事務局

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1

明治大学 司書課程・司書教諭課程室内

(事務局業務に関する問合せ先)

〒166-8532 東京都杉並区和田 3-30-22 大学生協学会支援センター内

日本図書館情報学会

E-mail : office@jslis.jp 学会ホームページ : <http://www.jslis.jp/>

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

## 定例（通信）総会の実施にあたって

会長 小田光宏

2014年度定例（通信）総会を実施いたします。本学会の運営に関する五つの重要な議案をご審議いただきます。ただし、例年と異なる議案が含まれていますので、成案に至るまでの経緯と趣旨をここに記し、ご理解願う次第です。

まず、本会報では、議案の提示に先立ち、会計処理特別委員会からの報告と、根本彰前会長からの説明文を掲載しています。この二つの文書は、第一号議案と関連します。第一号議案は、過年度の決算・予算の一部修正をお願いするものであり、極めて異例と受けとめられた会員もいることでしょう。

実は、3月初旬に予定した事務局および総務委員会の引継が、前期事務局長の体調不良により、それ以降を含めて行われていないという事態が生じています。今期常任理事会は、会計処理に関する引継の見通しが立たない事態をとりわけ重く受けとめ、前期役員の了解を得て、副会長と2名の常任理事をメンバーとする「決算処理対応チーム」を組織し、2013年度決算の確定に携わりました。この作業の過程で、2013年度における支出の一部に、2012年度の決算内容のものが含まれていることが判明したため、さらに遡って調査を行いました。その結果、2012年度決算に関して、修正すべき可能性が高いとの認識に至りました。

しかし、2013年度決算を進めるためではあれ、2012年度決算を取り扱うことは、今期の役員の活動範囲を超えてしまいます。そこで、役員とは別の立場の者からなる組織を設け、取り組んでいただくこととしました。すなわち、本学会規約第12条に基づき、専門委員会の一つとして、「会計処理特別委員会」を設置し、上田修一氏に委員長を、汐崎順子、戸田慎一、永田治樹の各氏に委員をお願いしました。委員会には、その任務として、第一に2012年度・2013年度の会計処理、第二に両年度の会計処理の問題点に関する調査、第三に両年度の会計処理の問題点に関する再発防止の提言を依頼しました。本会報に掲載した報告は、その第一の点に関するものです。

同委員会からの報告では、2012年度決算および2013年度予算の一部を修正することが提言されて

います。過年度の運営責任者である、前会長からの一文は、前期の役員を代表して、こうした状況が生じてしまったことの事情を、定例（通信）総会に対して説明するものです。第一号議案は、会計処理特別委員会の提言に基づく提案となっています。

次に、第二号議案および第三号議案は、第一号議案の成立を前提に、2013年度の事業報告と決算報告・会計監査報告を、おはかりするものです。会計処理特別委員会の指示のもと、決算処理対応チームにおいて、証憑類や関連資料を精査して確定した数値を示しています。

第四号議案と第五号議案は、本年度の事業計画案と予算案になります。項目の大半は、学会としての基礎的あるいは継続中の事業ですが、新たに取り組みを始めるものもいくつかあります。まず、13の「図書館情報学教育に資する事業の実施」です。これは、特別会計（旧「図書館情報学検定試験特別会計」）の有効活用という点からも、今期の重要な事業の一つと位置づけています。また、図書館情報学の基盤をいっそう強固なものにするため、15の「他機関との連携・協力の推進」に、積極的に取り組んでいく所存です。さらに、前述した会計処理の問題の背景には、本学会の運営体制に弱点があったことは否めません。そこで、17の「学会運営の点検・整備」を、本年度の事業の一つとして位置づけました。

会員の皆様には、慎重なご審議をお願いいたします。その上で、議案に対する忌憚のないご意見ならびにご助言をたまわりますよう、お願い申し上げます。

## 会計処理関係の報告

2014年5月18日

日本図書館情報学会理事会各位

会計処理特別委員会からの報告と理事会への提案

日本図書館情報学会会計処理特別委員会  
上田修一、永田治樹、戸田慎一、汐崎順子

### 1. 報告

#### (1) 経緯

2014年

4月23日 会計処理特別委員会第1回会合

任務の確認、決算処理対応チームからの中間報告、今後の方針など

4月26日、27日 決算処理対応チーム調査結果の確認

5月2日 常任理事会から前常任理事への説明に同席

出席者は、根本前会長、三輪、安形、石田前常任理事

5月9日 会計処理特別委員会第2回会合

決算処理対応チームの最終報告、確認作業結果報告、理事会への提案

検討、今後の調査計画の検討

#### (2) 決算処理対応チームの最終報告

### (3) 決算処理対応チームの作業と結果の確認

#### 1) 確認内容

決算処理対応チームが 2012 年度および 2013 年度の証憑類（帳簿，領収書）から作成した新たな決算データの突合を行い，修正処理作業が適正に行われているか確認した。

あわせて，上記年度の会計処理に深刻な過失が起きた経緯について検討した。

#### 2) 確認結果

決算処理対応チームが，問題が発覚してからの短期間に膨大な量の証憑類の整理，確認，入力，2012-13 年度の会計データとの照合と修正を適正に行っていることを確認した。

その際，数件の処理ミス（入力金額違い，口座振込手数料の計算違いなど）を発見，指摘したが，全体として大きな問題はないと判断した。

#### 3) 2012，2013 年度の会計処理の問題点

##### a) 単純な処理ミス

帳票類（領収書，処理関係書類等）に多くの不備があった。

費目区分の間違いと混乱があり，例えば領収書上での事務局員への支払い内訳不明（給与と交通費が合算で記載），業務委託先への支払い内容処理ミスなどがあった。

##### b) 支出に関するルールが明確化されていなかったための混乱

遠隔地の委員への旅費計算は，実費+宿泊費，日当相当分と思われる金額を合算して支払っているが一定の加算額ではなかった。

##### c) 事務局の処理遅延に伴う複雑化，不透明化

本来，その都度に行われるべき処理が大幅に遅延していた。そのため，各委員会開催の立替払いへの支払い等に処理間違いが多数発生している。また，この処理状況の実態の遡及調査が非常に難しい状況になっていた。例えば，常任理事に対する交通費の過払い，払い戻し，相殺処理等があった。およびこれらの処理に伴う複数回の口座振込で発生した振込手数料計算，会計処理の複雑化が多数みられた。

##### d) 事務局業務の一部外部委託に伴う混乱

業務委託先への適切な指示等が行われていなかったためと思われる処理の齟齬，混乱等が見られた。退会した会員の会費過払いおよび払い戻しの処理，年会費の分割払いなどがある。

##### e) 春季研究集会関係

2012 年度春季研究集会開催校と事務局間での会計処理に仮払いと清算に関して多重の間違いがあった。

これらの問題点を抱え，会計処理が適切に行われぬまま，決算，予算案作成の際に「未払金処理」を導入したことで，内容がさらに複雑，不透明なものとなり，今回の深刻な事態に至ったと考えることができる。

なお，対象該当年度における事務局の会計処理について不正，不当な処理，支出および収入金額の恣意的な調整はなかったことを確認した。

決算処理対応チームの一連の調査、確認作業により、過年度会計（2012年度決算、2013年度予算）について適確に修正がなされていた。

## 2. 理事会への提案

2011～2013年度事務局から今期事務局への事務引き継ぎがなされなかったことは、大変遺憾である。そのために今期の小田会長および決算処理対応チーム（倉田副会長、安形常任理事、青柳事務局長）が膨大な作業を行うことになった。日本図書館情報学会の運営のためにこの作業に携わった方々に深く感謝する。

### (1) 2012年度の決算の修正と、2013年度予算の2012年度からの繰越金額の変更

2012年度の決算は、既に会計監査が行われ、理事会、通信総会で承認されているが、撤回し、過年度決算の修正処理を行う必要がある。

修正内容は、以下の表のとおり。

表 2012年度決算とその修正案

太字は修正箇所

#### 収入の部

項目	2012年度 決算報告	修正案
1. 会費		
正会員	2,240,000	2,240,000
学生会員	78,000	78,000
団体会員	585,000	585,000
賛助会員	50,000	50,000
入会金	28,000	28,000
退会会員会費余剰分	—	<b>30,000</b>
2. 広告料	220,000	220,000
3. 学会誌売上代金	2,014,600	2,014,600
4. 印税	96,900	96,900
5. 雑収入	42,331	<b>338,410</b>
6. 前年度繰越金	7,769,382	7,769,382
合計	13,124,213	<b>13,450,292</b>

#### 支出の部

項目	2012年度 決算報告	修正案
1. 事務費		
消耗品費	195,607	<b>195,229</b>
事務機器費	0	0
刊行物送料	806,953	806,953
通信費	200,210	<b>200,588</b>

交通費	288,180	<b>390,180</b>
人件費	475,100	475,100
会議費	33,550	<b>36,550</b>
業務委託費	164,850	164,850
レンタル料	8,800	8,800
2. 委員会経費		
研究委員会	104,000	<b>101,500</b>
編集委員会	132,407	132,407
総務委員会	94,000	94,000
図書館情報学教育特別委員会図書館情報学検定試験担当	22,500	22,500
図書館情報学教育特別委員会図書館情報学担当	281,876	<b>379,376</b>
国際委員会	0	0
学会賞選考委員会	0	0
図書館情報学用語辞典編集委員会	0	0
3. 印刷費		
学会誌印刷費	2,533,656	2,533,656
会報印刷費	207,900	207,900
会員名簿印刷費	0	0
4. 研究大会・集会		
春季研究集会	0	<b>293,079</b>
研究大会	500,000	500,000
研究大会シンポジウム	110,000	110,000
5. 研究助成金		
研究助成金	788,000	788,000
学会賞等副賞	100,000	100,000
6. その他		
予備費	206,825	206,825
合計	7,254,414	<b>7,747,493</b>
次年度繰越金	5,869,799	<b>5,702,799</b>

これに伴い、2013 年度予算の 2012 年度からの繰越金額を、すでに承認された 2013 年度予算案の 5,869,799 円から今回の修正結果である 5,702,799 円に変更する。

なお、2012 年度「図書館情報学検定試験特別会計」決算報告において、広告料掲載費の支出先が『学校図書館』となっているが、『図書館雑誌』が正しい。これは記録するに留めて決算報告の修正は行わない。

(2) 過年度の決算の修正は重大な事態であるので、前常任理事会から理事会と通信総会に対する説明を求める。

以上

2011-2013年度期最終決算に関する報告

前期（2011年度-2013年度）会長  
根本彰

前会長として、本来、前期の常任理事会できちんと決算を済ませた上で引き継ぐべきものを、それをしないままに次の期の方々に決算について膨大な時間を掛けて代行していただいたことについて、さらには、前々年度決算の修正まで遡ってやっていただいたことについて、御礼を申し上げるとともに、前期でできなかったことの不手際をお詫び申し上げたい。また、こういう事態を引き起こして、新たに会計処理特別委員会の立ち上げに至ったことについて、深く責任を感じている。

以下、この間の経緯について述べておきたい。5月2日の会計処理説明会において、決算処理対応チームを代表して倉田敬子副会長から過去2年間の本学会会計について以下の説明があった。このまとめは筆者なりの理解によるもので、金額は概算で示している。

- 1 決算処理対応チーム（倉田氏、安形氏、青柳氏）は膨大な作業を行い、2012年度と2013年度の会計について、帳簿、領収書、請求書、通帳、現金を精査し、入金と出金の確認を行った。
- 2 2012年度の収入について、一部の誤りがあった。決算報告で不足額があった。
- 3 2012年度の支出について、領収書がないもの、金額に誤りがあるものなど不備が多数存在した。2012年度の支出について不足額があった。
- 4 2012年度の支出のうち、この年度にすべてのものを支払うことができなかったため翌年度にまたがる未払い金が生じた。
- 5 2013年度については、決算書が作られていなかったため、代行して作成することを行った。未払い金および未請求のものがあった。

対応チームが結成されたのは、野末事務局長の体調不良によって2013年度決算が完了しなかったことがきっかけであった。しかしながら、チームは、検討する過程で2013年度の会計処理にとどまらず、2012年度の会計の運用に不備があったことについて明らかにしていった。さらに、学会が単年度会計の原則で来ていたものについて、これまでの慣例とは異なった年度をまたがる会計処理が採用されていたことを明らかにした。

前期の会長としての第一の反省事項として、個別の会計処理の問題については、事務局および個々の委員会やプロジェクトごとの会計で生じたことであるが、常任理事会としての問題点の全容を把握できていなかったことが挙げられる。第二には、そのために、こういう事態にあったことを理事会および総会に向けて十分な説明ができていなかったことがある。第三に、年度を超えた会計処理は未払い金処理と呼ばれるものであるが、学会事務の一部委託の手続きが年度の後半に遅れたために、従来の現金ベースの出納に代えて導入したことによる。ただ、この導入についても組織的な合意と会員への説明が十分ではなかった点は否めない。

なお、原因についてであるが、さまざまなことが複合的に重なって生じたと考えられる。なかでも、

膨大な事務量をこなす事務局長にまかせきりにしていたことや、一部業務の外部委託を進めようとしたために事務局の作業が変則的になったことは、重要な要因であったと思われる。

今後のことであるが、基本的には会計処理特別委員会および理事会に処理を一任する。具体的には、2012年度の会計の修正、2013年度会計の提案とともに、原因の究明と対策をお願いすることになるだろう。

最後にこうなったことについて、再度お詫びを申し上げたい。

## 2014年度定例（通信）総会

正会員各位

会長 小田光宏

2014年度定例（通信）総会として、以下の議案の可否につきまして、投票用紙（着払いはがき）または電子投票のいずれかの方法にて投票をお願いいたします。投票方法の詳細については、同封の案内をご覧ください（総会は正会員によって構成されるため、名誉会員、学生会員、施設会員、賛助会員の皆様には、案内は同封しておりません）。

### 記

投票期日：2014年6月30日（月）（郵送は当日消印有効、電子投票は23:59まで有効）

議 題： 第一号議案 過年度会計処理（2012年度決算・2013年度予算）の一部修正

第二号議案 2013年度事業報告

第三号議案 2013年度決算報告・会計監査報告

第四号議案 2014年度事業計画案

第五号議案 2014年度予算案

第一号議案 過年度会計処理（2012年度決算・2013年度予算）の一部修正

1. 2012年度決算報告を以下の修正案のように修正する。

#### 【一般会計】

(収入の部)

項目	2012年度 決算報告	修正案
1. 会費		
正会員	2,240,000	2,240,000
学生会員	78,000	78,000
団体会員	585,000	585,000
賛助会員	50,000	50,000
入会金	28,000	28,000
退会会員会費余剰分	—	30,000
2. 広告料	220,000	220,000
3. 学会誌売上代金	2,014,600	2,014,600
4. 印税	96,900	96,900

5. 雑収入	42,331	338,410
6. 前年度繰越金	7,769,382	7,769,382
合計	13,124,213	13,450,292

(支出の部)

項目	2012 年度 決算報告	修正案
1. 事務費		
消耗品費	195,607	195,229
事務機器費	0	0
刊行物送料	806,953	806,953
通信費	200,210	200,588
交通費	288,180	390,180
人件費	475,100	475,100
会議費	33,550	36,550
業務委託費	164,850	164,850
レンタル料	8,800	8,800
2. 委員会経費		
研究委員会	104,000	101,500
編集委員会	132,407	132,407
総務委員会	94,000	94,000
図書館情報学教育特別委員会図書館情報学検定試験担当	22,500	22,500
図書館情報学教育特別委員会図書館情報学担当	281,876	379,376
国際委員会	0	0
学会賞選考委員会	0	0
図書館情報学用語辞典編集委員会	0	0
3. 印刷費		
学会誌印刷費	2,533,656	2,533,656
会報印刷費	207,900	207,900
会員名簿印刷費	0	0
4. 研究大会・集会		
春季研究集会	0	293,079
研究大会	500,000	500,000
研究大会シンポジウム	110,000	110,000
5. 研究助成金		
研究助成金	788,000	788,000
学会賞等副賞	100,000	100,000
6. その他		
予備費	206,825	206,825
合計	7,254,414	7,747,493
次年度繰越金	5,869,799	5,702,799



2. これに伴い、2013年度予算の2012年度からの繰越金額を、すでに承認された2013年度予算案の5,869,799円から今回の修正結果である5,702,799円に変更する。

## 第二号議案 2013年度事業報告

### 1. 2013年度総会の開催

#### (1) 定例（通信）総会

2013年6月30日（日）を投票締切日として定例（通信）総会を実施し、全議案が成立した。

#### (2) 臨時総会

2013年10月13日（日）に東京大学本郷キャンパス（東京都文京区）を会場として、臨時総会を開催した。

### 2. 第61回研究大会の開催

第61回研究大会(60周年記念大会)を2013年10月12日（土）、13日（日）に東京大学本郷キャンパス（東京都文京区）にて開催した。

### 3. 2013年春季研究集会の開催

2013年春季研究集会を2013年5月25日（土）に筑波大学筑波キャンパス春日エリア（茨城県つくば市）にて開催した。

### 4. 日本図書館情報学会60周年記念式典の開催

研究大会2日目午後に、日本図書館協会理事長森茜氏、日本図書館研究会理事長川崎良孝氏を来賓として招き、日本図書館情報学会60周年記念式典を開催した。

### 5. 研究大会におけるシンポジウムの開催

研究大会2日目午後に、図書館情報学教育特別委員会図書館情報学教育担当WGの企画によって「これからの図書館情報学教育を考える」と題してシンポジウムを開催した。

### 6. 『日本図書館情報学会誌』の発行

『日本図書館情報学会誌』第59巻第2号（2013年6月号）、第59巻第3号（同年9月号）、第59巻第4号（同年12月号）を発行した。

### 7. 会報の発行

『日本図書館情報学会会報』No.149（2013年4月）、No.150（同年7月）、No.151（同年9月）、No.152（2014年2月）を発行した（印刷版の郵送およびPDF版のメール配信）。

### 8. 学会刊行物（新シリーズ）刊行の準備

新シリーズ（「わかる！図書館情報学」[仮]）について、第1巻の企画を開始し、執筆者へ原稿を依頼した。

### 9. 学会賞・奨励賞・論文賞の選考・授与

日本図書館情報学会賞、同奨励賞については該当なしとした。また、次の著作に同論文賞を授与した。

- ・須賀千絵（慶應義塾大学非常勤講師）「英国の公共図書館行政における地方審問制度：Wirralにお

#### 10. 研究助成の募集・交付

研究助成の募集を行い、審議の結果、以下の4件に対して研究助成を行なった。

- ・池内有為（筑波大学大学院図書館情報メディア研究科）「研究データの分野別公開状況と阻害要因の分析」
- ・大場博幸（文教大学）「日本国内の図書館の蔵書調査：複本所蔵される書籍の属性、および図書館間の重複率と包含率」
- ・浅石卓真（東京大学大学院教育学研究科）「知識の専門化に応じたメディアの表現の変化：中・高理科教科書の比較分析を通じて」
- ・山下聡子「指定管理者制度導入時の地方公共団体構成員の図書館に対する認識と図書館運営の関係」

#### 11. 優秀発表賞の選考・授与

2013年春季研究集会および第61回研究大会における以下の登壇発表者に対して優秀発表賞を授与した。

##### [2013年春季研究集会]

- ・安形麻理（慶應義塾大学）「日本の図書館におけるマイクロフィルムの保存の現状：質問紙による大学図書館と都道府県立図書館の悉皆調査から」
- ・倉田敬子（慶應義塾大学）「日本における学術雑誌電子化の状況と阻害要因：学会誌と大学紀要を対象とした郵送調査」

##### [第61回研究大会]

- ・平山陽菜「公立図書館に関する公開質問状の分析」

#### 12. 学会活動貢献賞の選考・授与

本学会の運営、事業、会員サービスの向上等に関して、その功績が顕著であると認められる次の会員に「学会活動貢献賞」を授与した。

- ・吉田右子（筑波大学）授賞理由：学会事務局長、編集委員長、用語辞典編集委員長をはじめとする長年にわたる学会活動への貢献による。

#### 13. 学会誌の電子的提供

CiNiiを通じて、『日本図書館情報学会誌』掲載論文の電子版を、会員には無料で、一般には有料（3年以前は無料）で提供した。

#### 14. 学会広報の電子化

他団体からの案内等を掲載する会員向けメールマガジンのNo.244～247を発行した。学会ウェブサイトの更新（会報・メルマガの掲載を含む）を行なった。

#### 15. 事務局業務の一部委託

会員管理等、事務局業務の一部を大学生協学会支援センターに委託した。

#### 16. 図書館情報学教育の在り方の検討

日本の図書館情報学教育における問題点・課題を整理し、3年間の活動について最終報告をまとめた。

## 17. 図書館情報学検定試験

2013年11月24日(日)午後図書館情報学検定試験を実施した。試験実施業務については情報科学技術協会に委託した。申込者数は218名、受験者数は202名であった。成績優秀者には、賞状と記念品の贈呈を行なった。なお、2014年度以降の実施を休止することとした。

## 18. 国際的活動の実施

図書館情報学関連の国際会議情報を収集し、学会のメールマガジンに掲載した(2013年11月、2014年3月)。

## 19. 日本図書館情報学会関係の一次史料のデジタル化

学会創立60年を迎えるにあたり、1950年代から1960年代の学会資料を整理し、その一部を電子化した。

## 20. 図書館情報学用語辞典第4版の刊行

2013年12月に『図書館情報学用語辞典』第4版(丸善出版)を刊行した。

## 21. 学会運営に関する検討

学会運営に関する臨時委員会(委員長:小田光宏)を組織し、答申を得た。

## 22. 役員選挙の実施

2014年度~2016年度を任期とする役員選挙を実施した。

## 23. 理事会・常任理事会の開催

### (1) 理事会

第1回 2013年5月18日(土) 青山学院大学 第2回 2013年10月13日(日) 東京大学

### (2) 常任理事会

第1回 2013年4月27日(土) 東京大学 第2回 2013年7月20日(土) 東京大学

第3回 2013年9月24日(火) 東京大学 第4回 2014年3月10日(月) 東京大学

## 24. 委員会の開催

### (1) 学会賞選考委員会

電子メールによる審議

### (2) 編集委員会

電子メールによる審議

### (3) 研究委員会

第1回 2013年7月20日(土) 立教大学 第2回 2014年2月1日(土) 日本大学

### (4) 総務委員会

第1回 2014年3月12日(水) 白百合女子大学

### (5) 図書館情報学教育特別委員会図書館情報学検定試験担当

第1回 2013年5月2日(木) 東京大学 第2回 2013年11月9日(土) 千葉大学(東京都港区)

### (6) 図書館情報学教育特別委員会図書館情報学教育担当

第1回 2013年6月18日(火) 東京大学 第2回 2013年9月2日(月) 東京大学

第3回 2013年9月24日(火) 東京大学 第4回 2014年2月23日(日) 明治大学

25. 会員現況 (2014年3月31日現在, 大学生協学会支援センターの集計)

名誉会員 1 正会員 656 学生会員 83 団体会員 43 賛助会員 4

※参考 (2013年3月31日時点)

名誉会員 1 正会員 656 学生会員 80 団体会員 43 賛助会員 4

第三号議案 2013年度決算報告・会計監査報告

1. 2013年度決算報告

【一般会計】

(収入の部)

項目	予算(円)	決算(円)	備考
1. 会費			
正会員	5,320,000	4,528,000	5,000円×905件, 3000円×1件
学生会員	294,000	166,000	2,000円×82件+1000円×2件
団体会員	765,000	716,250	15000円×45件+15000円×2+11250
賛助会員	400,000	350,000	50,000円×7件
入会金	30,000	50,000	1,000円×50件(正会員, 学生会員)
2. 広告料	195,000	170,000	30,000円×4件, 25,000円×2件
3. 学会誌売上金	1,735,800	1,614,900	59(1)~(4)年間購読611冊 1,283,100 個別158冊(59(3)まで) 331,800
4. 印税	50,000	353,400	丸善出版社(用語辞典第3版, 第4版)
5. 雑収入	50,000	8,610	著作権
		641	利息
		20,000	寄付金
		146,500	2013年春季研究集会収入
		2,000	2012年度研究大会発表要綱販売(1冊)
6. 前年度繰越金	5,702,799	5,702,799	2012年度修正決算の結果
合計	14,542,599	13,829,100	

(支出の部)

項目	予算(円)	決算(円)	備考
1. 事務費			
消耗品	300,000	105,962	発送封筒代 38,850 その他 67,112
備品費	50,000	0	
発送費	930,000	407,955	会報郵送料, 手数料 202,815 学会誌59(2)(3)郵送料 67,820 役員選挙 137,320
通信費	400,000	183,499	振込手数料 25,410 会費徴収手数料 73,080 振込用紙 26,312

交通費	775,000	447,240	郵便代 事務局職員通勤手当 常任理事会 理事会	58,697 32,240 231,500 183,500
人件費	330,000	324,800	事務局職員賃金	324,800
会議費	80,000	37,330	理事会	37,330
業務委託費	924,000	990,990		
レンタル料	24,000	3,800	ウェブサーバ	3,800
2. 委員会経費				
研究委員会	159,000	96,500	交通費	96,500
編集委員会	236,000	19,054	謝金 書籍費 通信費 複写費	7,000 6,090 5,240 724
総務委員会	240,000	90,840	学会入会案内 交通費 総合展参加費	67,800 7,500 15,540
学会賞選考委員会	114,000	0		
図書館情報学教育 特別委員会図書 館情報学検定試 験担当	182,500	66,700	交通費 書籍費 バッジ作成費用	32,500 17,800 16,400
図書館情報学教育 特別委員会図書 館情報学教育担当	270,000	138,513	交通費 宿泊費 書籍代	104,773 14,000 19,740
国際委員会	212,500	0		
図書館情報学用語 辞典編集委員会	89,000	121,296	書籍購入費	121,296
学会史資料デジタル化 特別委員会	572,530	354,081	アルバイト代 デジタル化費用	120,540 233,541
選挙管理運営委員会	40,000	73,911	会議費 交通費	28,911 45,000
3. 印刷費				
学会誌	2,000,000	749,212	59(2)印刷代 59(3)印刷代	399,327 349,885
会報	300,000	145,950	no.149 no.150, 通信総会葉書 no.151	39,900 74,550 31,500
役員選挙	300,000	83,655	公示 投票用紙	22,805 59,504

会員名簿	300,000	0	常任理事等選挙, 承諾書	1,346
4. 研究大会・集会経費				
春季研究集会	170,000	395,664	春季研究集会事務局経費	395,664
研究大会	500,000	500,000	研究大会事務局支援拠出金	500,000
研究大会シンポジウム	30,000	5,000	60周年記念式典交通費	5,000
5. 研究助成費				
研究助成金	600,000	968,620	研究助成金	968,620
学会賞等副賞	500,000	212,400	学会活動貢献賞	100,000
			学会活動貢献賞賞状	6,200
			学会論文賞	100,000
			学会論文賞賞状	6,200
6. その他				
予備費	4,081,069	30,000	元会員への余剰金返金	30,000
合計	14,709,599	6,552,972		
	次年度繰越金	7,276,128		

#### 【図書館情報学検定試験特別会計】

(収入の部)

項目	予算(円)	決算(円)	備考
検定試験受験料	800,000	553,000	申込者 218 名
前年度繰越金	1,417,767	1,417,767	
雑収入	0	210	利息
合計	2,217,767	1,970,977	

(支出の部)

項目	予算(円)	決算(円)	備考
交通費	50,000	0	
会議費	10,000	0	
ちらし作成費	120,000	140,061	リーフレット印刷代
広告掲載費	120,000	68,250	『図書館雑誌』8月号
会場運営費	30,000	0	
説明会運営費	60,000	0	
バッジ作成費	10,000	0	(一般会計から支出済み)
予備費	1,817,767	840	振込手数料
合計	2,217,767	209,151	
	次年度繰越金	1,761,826	

## 2. 会計監査報告

会計監査の結果、事務処理、帳簿記入は正確に行われていたことを報告いたします。

2014年5月23日 監事 三輪眞木子 (印)

2014年5月23日 監事 渡辺 信一 (印)

## 第四号議案 2014年度事業計画案

### 1. 2014年度総会の開催

#### (1) 定例（通信）総会

投票締切日を2014年6月末日として定例（通信）総会を実施する。なお、投票は郵送および電子投票による。

#### (2) 臨時総会

2014年11月30日（日）に梅花女子大学（大阪府）を会場として臨時総会を開催する。

### 2. 第62回研究大会の開催

第62回日本図書館情報学会研究大会を11月29日（土）、30日（日）に梅花女子大学にて開催する。

### 3. 2014年春季研究集会の開催

2014年春季研究集会を2014年5月24日（土）に日本女子大学目白キャンパスにて開催する。

### 4. 研究大会におけるシンポジウム開催

第62回研究大会2日目午後に「図書館を活用した学習支援」のテーマでシンポジウムを開催する。

### 5. 『日本図書館情報学会誌』の発行

『日本図書館情報学会誌』第60巻第1号（2014年3月号）、同第2号（同年6月号）、同第3号（同年9月号）、同第4号（同年12月号）、第61巻第1号（2015年3月号）を発行する。また、国立情報学研究所電子図書館事業（NII-ELS）によりCiNiiを通じて電子版を提供する（直近3年間分は定額許諾、個人登録の会員は無料）。

### 6. 会報の発行

『日本図書館情報学会会報』No.153（2014年4月）、No.154（同年6月）、No.155（同年10月）、No.156（2015年1月）を発行する（印刷版郵送・PDF版メール配信）。

### 7. 新シリーズ「わかる！図書館情報学」の編集

2014年度中に頒布する日程で、第1巻の編集を進めると同時に、第2巻の企画を進め、原稿の依頼を開始する。

### 8. 学会賞・論文賞・奨励賞の選考・授与

正会員の優れた著作で2012年度もしくは2013年度に刊行されたものを対象として「日本図書館情報学会賞」を授与する。『日本図書館情報学会誌』第59巻第2号から第60巻第1号までに掲載された優れた論文を対象として「日本図書館情報学会論文賞」を授与する。個人会員（若手研究者）の優れた著作で『日本図書館情報学会誌』第59巻第2号から第60巻第1号までに掲載されたものを中心に「日本図書館情報学会奨励賞」を授与する。

### 9. 研究助成の募集・交付

図書館情報学振興のために、会員が個人としてあるいはグループとして計画した研究4件程度に対し、研究の遂行ならびにその結果のとりまとめに要する経費の一部を助成する。

10. 優秀発表賞の選考・授与

2014年春季研究集会および第62回日本図書館情報学会研究大会において優れた口頭発表を行なった個人会員に「優秀発表賞」を授与する。

11. 学会活動貢献賞の選考・授与

本学会の運営，事業，会員サービスの向上等に関して，その功績が顕著であると認められる個人会員に「学会活動貢献賞」を授与する。

12. 学会活動電子化の推進

学会ウェブサイトの管理・更新（会報・メルマガの掲載，研究集会・研究大会ページの作成を含む），メールマガジンの発行などを進める。

13. 図書館情報学教育に資する事業の実施

特別会計（旧「図書館情報学検定試験特別会計」）を活用し，図書館情報学教育に資する事業として，同検定試験の在り方を検討するとともに，図書館情報学教育の実態調査の計画策定および実施準備を行う。また，国外の図書館情報学教育の動向に焦点を合わせたシンポジウムを計画する。

14. 国際的活動の実施

学会活動の国際化を推進する。

15. 他機関との連携・協力の推進

図書館情報学の研究推進に資するよう，関係機関・諸団体との連携・協力を推進する。

16. 事務局業務の一部委託

2013年度に引き続き，会員管理，会費管理等，事務局業務の一部を大学生協学会支援センターに委託する。

17. 学会運営の点検・整備

規程・内規類の整備を進めるとともに，会計処理方法の見直しを行う。

第五号議案 2014年度予算案

【一般会計】

(収入の部)

項目	予算(円)	備考					
1. 会費							
正会員(名誉会員含)	4,055,000	現会員	5,000 ×	657 人	未納分	5,000 ×	154 人/年
学生会員	268,000	現会員	2,000 ×	80 人	未納分	2,000 ×	54 人/年
団体会員	660,000	現会員	15,000 ×	43 機関	未納分	15,000 ×	1 機関/年
賛助会員	200,000	現会員	50,000 ×	4 機関	未納分	50,000 ×	0 機関/年
入会金	40,000		1,000 ×	40 件			
2. 広告料	240,000		30,000 ×	8 件		25,000 ×	1 件
3. 学会誌売上代金	2,011,800	定期購読	12,000 ×	0.7 仕切	×	150 セット	1,260,000
		個別購読	3,000 ×	0.7 仕切	×	300 部	630,000
		59(4)	121,800				
4. 印税	350,000	『図書館情報学用語辞典4版』他					
5. 雑収入	325,000	著作権使用料他	50,000	春季研究集会	250,000	広告料未収分	25,000
6. 前年度繰越金	7,276,128						
合計	15,425,928						



## (支出の部)

項目	予算(円)	備考
1. 事務費		
消耗品費	310,000	封筒(印刷費含む)・文房具・プリンタインク他 + 未払分会報No.152 9,450円
備品費	30,000	キャビネット
発送費	939,000	学会誌 80,000 × 5 60(1)~61(1) 400,000 59(4) 80,000 会報 70,000 × 3 No.153,155,156 + 130,000 × 1 No.154 340,000 未払分会報No.151,152 119,000
通信費	400,000	郵送費・振込手数料・郵便振替加入者負担金他
交通費	563,500	理事会 (2,500円×21人 60,000円) 112,500 未払分2013年度第1回理事会 47,000 常任理事会 80,000 × 4 320,000 会計監査 69,000 アルバイト通勤手当 15,000
人件費	196,000	アルバイト 12,000 × 10 120,000 前期アルバイト分 76,000 (2014年3,4月分)
会議費	78,200	理事会 (弁当30,000円 コーヒー5,000円) 35,000 常任理事会 9,600 × 4 38,400 会計監査 2,400 × 2 4,800
業務委託費	900,000	大学生協 75,000 × 12
賃借費	24,000	ウェブサーバ 2,000 × 12
2. 委員会経費		
研究委員会	155,000	交通費 52,000 × 2 104,000 会議費 5,000 × 1 5,000
編集委員会	232,100	通信費 10,000 書籍購入費 36,000 交通費 87,500 × 1 87,500 会議費 9,600 × 1 9,600 書評用図書購入費 60,000 消耗品費 5,000 通信費 5,000 英文校閲料 30,000 非会員査読謝礼 35,000
総務委員会	39,000	交通費 12,500 × 2 25,000 会議費 6,000 × 1 6,000 通信費 5,000 消耗品費 3,000
学会賞選考委員会	58,400	交通費 10,800 × 3 32,400 会議費 5,000 × 2 10,000 通信費 3,000 消耗品費 3,000 資料費 10,000
3. 印刷費		
学会誌	2,794,000	(10円/頁×250頁×1,000部) 2,500,000 59(4) 294,000
会報	277,200	No.154(葉書含) 90,000 × 1 90,000 No.152 67,200 No.153,155,156 40,000 × 3 120,000
研究大会ラベル印刷費	20,000	
4. 研究大会・集会経費		
春季研究集会	350,000	春季研究集会事務局経費
研究大会	500,000	研究大会事務局支援拠出金30万+参加費補助20万
研究大会シンポジウム	30,000	非会員パネリスト交通費・謝礼等
5. 研究促進費		
研究助成金	1,000,000	研究助成(1件30万円を上限に4件程度)
学会賞等副賞	400,000	学会賞200,000 論文賞・奨励賞各100,000
学会活動貢献賞	100,000	
6. その他		
会計処理関係	150,300	交通費 8,700 × 13 113,100 会議費 4,200 × 6 25,200 通信費 6,000 消耗品費 6,000
予備費	5,879,228	
合計	15,425,928	

## 【特別会計】

## (収入の部)

項目	予算(円)	備考
前年度繰越金	1,761,826	
雑収入	200	受取利息
合計	1,762,026	

(支出の部)

項目	予算(円)	備考
実態調査実施費	750,000	図書館情報学教育の実態調査
シンポジウム開催費	650,000	国外の図書館情報学教育の動向に焦点を合わせたシンポジウム
予備費	362,026	
合計	<b>1,762,026</b>	

## 報告事項

### 役員補充

一身上の理由により谷口祥一氏（慶應義塾大学）が、監事を2014年5月1日付けで辞任しました。また、野末俊比古氏（青山学院大学）が、常任理事を2014年5月18日付けで辞任しました。これに伴い、日本図書館情報学会規約第10条および日本図書館情報学会選挙管理運営委員会規程第4条2に基づき、繰り上げによる役員の補充をすることを常任理事会で決定し、選挙管理運営委員会に実務を委ねました。その結果、監事選挙における次点の渡辺信一氏（同志社大学）が繰り上げ当選となり、監事に就任しました。また、常任理事選挙における次点の松林麻実子氏（筑波大学）が繰り上げ当選となり、常任理事に就任しました。なお、両役員の任期は、残任期間である2016年度末までとなります。

### 2014年度第1回理事会

日時：2014年5月18日（日）13：30～15：30

場所：明治大学駿河台キャンパス アカデミーコモン9階309F教室

出席者：小田、倉田、青柳、安形、石田、三浦、吉田、池谷、糸賀、植松、大谷、岸田、須永、竹内、松林

欠席者：影浦、古賀、酒井、齋藤、田窪、呑海、野末

議事：＜報告事項＞

1. 新体制の紹介
2. 副会長、常任理事の選挙における「互選」の意義
3. 会計処理特別委員会の設置
4. 役員の辞任と欠員補充
5. 特別会計の名称変更
6. 監事の欠員補充結果

＜協議事項＞

1. 選挙管理運営委員長の承認
2. 会計処理特別委員会からの報告と勧告

### 2014年度第2回理事会

日時：2014年5月24日（土）12：00～13：40

場所：日本女子大学目白キャンパス100年館高層棟5階504会議室

出席者：小田、倉田、青柳、安形、石田、三浦、吉田、池谷、糸賀、植松、大谷、岸田、酒井、竹内、呑海、松林

欠席者：大谷、影浦、古賀、齋藤、須永、田窪、野末

列席者：三輪（監事）、渡辺（監事）

議事：＜報告事項＞

1. 常任理事の欠員補充結果と役割分担

＜協議事項＞

1. 2013 年度事業報告
2. 2013 年度決算報告・会計監査報告
3. 2014 年度事業計画案
4. 2014 年度予算案

## 2014～2016 年度 日本図書館情報学会委員会名簿

### ・研究委員会

吉田右子（筑波大学）【委員長】

安形 輝（亜細亜大学）

塩崎 亮（国立国会図書館）

野口武悟（専修大学）

宮田洋輔（帝京大学）

岩崎れい（京都ノートルダム女子大学）

高久雅生（筑波大学）

松本直樹（大妻女子大学）

横井慶子（東京工業大学図書館）

### ・編集委員会

三浦太郎（明治大学）【委員長】

大谷康晴（日本女子大学）

角田裕之（鶴見大学）

梶谷純一（徳島県立図書館）

村上泰子（関西大学）

大場博幸（文教大学）

呑海沙織（筑波大学）

橋詰秋子（国立国会図書館）

### ・総務委員会

青柳英治（明治大学）【委員長】

安形輝（亜細亜大学）

江藤正己（学習院女子大学）

今井福司（白百合女子大学）

杉江典子（駿河台大学）

### ・学会賞選考委員会

倉田敬子（慶應義塾大学）【委員長】

吉田右子（筑波大学）

三浦太郎（明治大学）

### ・選挙管理運営委員会

荻原幸子（専修大学）【委員長】

金井喜一郎（昭和音楽大学短期大学部）

松本直樹（大妻女子大学）

國本千裕（駿河台大学）

宮原志津子（相模女子大学）

### ・会計処理特別委員会

上田修一（立教大学）【委員長】

汐崎順子（慶應義塾大学）

永田治樹

戸田慎一（東洋大学）

## 第 62 回研究大会のご案内

研究委員会／第 62 回研究大会事務局

第 62 回日本図書館情報学会研究大会を下記のとおり開催いたします。

### 開催要領

日 程： 2014 年 11 月 29 日（土）、30 日（日）

会 場： 梅花女子大学 山草館 F 棟

事務局： 〒567-8578 大阪府茨木市宿久庄 2-19-5 梅花女子大学文化表現学部情報メディア学科  
瀬戸口誠研究室第 62 回日本図書館情報学会研究大会事務局

Tel: 072-643-6221（代表） E-mail: jslis2014@baika.ac.jp

参加費（予定）： 正会員 4,000 円、学生会員 1,000 円、非会員 6,000 円  
（学会からの参加費補助をうけて減額を検討する）

懇親会費（予定）： 4,000 円

### 宿泊案内

研究大会事務局では宿舎の斡旋はいたしませんので、ご了承ください。

### プログラム（予定）

11 月 29 日（土）

12:00-13:00 受付

13:00-13:15 開会式

13:30-17:00 研究発表

17:30-19:00 懇親会

11 月 30 日（日）

9:00- 9:30 受付

9:30-12:00 研究発表

12:00-13:00 昼食（理事会等）

13:00-14:00 臨時総会

14:00-16:50 シンポジウム

16:50-17:00 閉会式

- ・ 大会 2 日目の午後には「臨時総会」を開催いたしますので、ぜひご参加ください。
- ・ 大会 2 日目のシンポジウムについては、図書館を活用した学習支援をテーマとして開催予定です。シンポジウムは一般公開といたしますので、研究大会参加者以外の方でも無料で参加することができます。

### 研究発表募集要項

- 1) 別記の〈研究大会・春季研究集会における発表のルールについて〉にご留意のうえ、お申し込みください。
- 2) 応募資格：筆頭発表者が日本図書館情報学会の正会員か学生会員であり、登壇発表者となること。
- 3) 発表時間：1 件 30 分（発表時間 20 分、質疑応答 10 分）
- 4) 申込方法：研究集会発表申し込みウェブサイト（<http://jslis-kenkyu.appspot.com/submit>）から必要事項を記入の上、お申し込みください。なお、受理された申込書は Web 上で公開する予定です。あらかじめご承知おきください。
- 5) 申込締切：2014 年 9 月 29 日（月）23:59 必着

注：申し込み直後に申込みを受け付けた旨のメールを差し上げます（受理の連絡はまた別途行います）。

申し込んだにもかかわらずメールがない場合、トラブルの可能性がありますので、研究委員会 (kenkyu@jslis.jp) までご連絡ください。

- 6) 申込受理：申し込み後 1 週間前後で通知します。
- 7) 要綱原稿：発表することが決まった場合には、A4 判で 4 枚の発表要綱を作成し、2014 年 10 月 29 日（水）までに原稿を研究委員会ウェブサイトを送っていただきます。なお、要綱提出の締切日は前後することがありますのでご了解ください。要綱の作成方法などに関しては、発表申込受理者にご連絡いたします。
- 8) 発表のための機材：プロジェクタないしそれに準じる表示装置でプレゼンテーションソフト（Power Point）が使用可能です。その他のソフトウェアや機材をご要望の場合には、研究委員会 (kenkyu@jslis.jp) までお問い合わせください。
- 9) 優秀発表賞：研究委員会における審査において、研究内容・発表技法という観点から優れた発表を行ったと判断された登壇発表者を対象として優秀発表賞を授与いたします。優秀発表賞については、学会ウェブサイトならびに学会誌に掲載される研究大会・春季研究集会概要において公表いたします。

〈研究大会・春季研究集会における発表のルールについて〉

研究大会および春季研究集会は、次のようなルールの下に統一的に運用されています。発表希望者はルールをご確認のうえ、発表申込をしてください。

- (1) 個人会員（正会員・学生会員）は、研究大会および春季研究集会において同様に発表の権利をもつ。
- (2) 研究発表は、他で公表していないオリジナルなものに限るものとする。
- (3) 個人会員が一度の研究大会あるいは春季研究集会において個人発表および共同発表の筆頭発表者となることは、合わせて 1 回を原則とする。
- (4) 共同研究の筆頭発表者は個人会員でなければならない。
- (5) 発表要綱の原稿は、発表内容を論文の形式で記述するものとする。
- (6) 発表プログラム公表後のプログラム（発表タイトル、発表者、発表内容、発表時間）の変更は、原則として認めない。どうしても変更せざるを得ない場合には、要綱提出の 1 週間前までに研究委員長に理由を付して変更を申し出ること。
- (7) 発表申込、要綱作成、発表、発表後の抄録提出は同一言語で行うこととする。その際の言語は、日本語もしくは英語で行うものとする。

## 学会賞・論文賞・奨励賞候補の推薦の募集

学会賞選考委員会

2014 年度の日本図書館情報学会賞、奨励賞、論文賞の候補に関する推薦を下記のとおり、募集いたします。自薦・他薦を問いません。多くの会員からの候補の推薦をお待ちしております。

記

### 1. 賞の種類

- (1) 日本図書館情報学会賞 副賞 20 万円
- (2) 日本図書館情報学会論文賞 副賞 10 万円
- (3) 日本図書館情報学会奨励賞 副賞 10 万円

## 2. 選考対象

- (1) 日本図書館情報学会賞：本学会の正会員
- (2) 日本図書館情報学会論文賞：本学会の正会員・学生会員が筆頭著者である論文
- (3) 日本図書館情報学会奨励賞：本学会の正会員・学生会員（若手研究者）

## 3. 選考対象業績

- (1) 日本図書館情報学会賞：正会員によって 2012 年度もしくは 2013 年度に日本語もしくは英語で発表された図書および論文
- (2) 日本図書館情報学会論文賞：『日本図書館情報学会誌』第 59 巻第 2 号から第 60 巻第 1 号までに掲載された、本学会正会員もしくは学生会員が筆頭著者である論文
- (3) 日本図書館情報学会奨励賞
  - a. 『日本図書館情報学会誌』第 59 巻第 2 号から第 60 巻第 1 号までに掲載された、本学会正会員もしくは学生会員による単著論文
  - b. その他の研究業績については、本学会正会員により推薦されたもの

## 4. 選考

学会賞選考委員会において審査し、理事会の承認を得て決定する。

## 5. 授賞

2014 年度臨時総会において授賞式を行う。

## 6. 応募・推薦方法

以下の事項を記載した用紙（所定の書式はないが、A4 判横書きが望ましい）を 7 月 18 日（金）までに必着で郵送ないしは電子メールにて送付すること。

なお推薦者の氏名は非公開とするが、選考過程を明らかにする範囲で、匿名での推薦理由等については一定程度言及することがあり得る。

- a. 著者名
- b. 著作名（書名、論題名等）
- c. 出版社／収録雑誌名・巻・号・頁
- d. 推薦者連絡先（メールアドレス明記）
- e. 推薦理由

## 7. 応募・推薦先

【郵送】〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾大学文学部

倉田敬子気付 日本図書館情報学会 学会賞選考委員会

【メール】 senkou@jslis.jp（学会賞選考委員会）

委員会・事務局より

## 『日本図書館情報学会誌』投稿募集

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下のとおりです。投稿は随時、受け付けています。投稿に際しては「投稿規程」と「執筆要綱」をご参照ください。（編集委員会）

- ・投稿先：日本図書館情報学会編集委員会 (journal@jslis.jp)
- ・『日本図書館情報学会誌』投稿規程 2013年8月31日改訂  
http://www.jslis.jp/journal/c\_reg\_130831.pdf
- ・『日本図書館情報学会誌』執筆要綱 2012年4月30日改訂  
http://www.jslis.jp/journal/w\_out\_120430.pdf

#### メールマガジンについて

総務委員会ではメールマガジンを随時、発行しています。掲載・講読希望の方は、総務委員会 (somu@jslis.jp) までご連絡ください。 (総務委員会)

#### 2014年度の会費納入のお願い

2013年度までの会費未納の方は、未納分も含めて、すみやかに納入してください。

下記あて、お振り込みください。

(事務局)

#### **【振り込み先】**

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

#### 会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス、会員種別等の変更については、学会ウェブサイトの「会員情報変更申請書」(http://www.jslis.jp/membership\_3.html)にご記入いただき、事務局 (office@jslis.jp) までメールでお送りください。郵送の場合は(事務局業務に関する問合せ先)の住所にお送りください。

なお、退会については特に書式はありませんので、電子メールにて、退会理由を併記のうえ、事務局 (office@jslis.jp) までご連絡ください。郵送の場合は(事務局業務に関する問合せ先)の住所にお送りください。 (事務局)

### 学会受領資料

2014年4月以降に事務局で受領した資料を掲載します。なお、誌幅の都合等により、図書のみを挙げております(著者名の五十音順)。

- ・志保田務編著『情報資源組織論:よりよい情報アクセスを支える技とシステム』(講座・図書館情報学 10) ミネルヴァ書房, 2014
- ・スタン・ナイト (Knight, Stan) 著, 安形麻里訳『西洋活字の歴史:グーテンベルクからウィリアム・モリスへ』慶應義塾大学出版会, 2014
- ・渡邊洋子編著『生涯学習概論:知識基盤社会で学ぶ・学びを支える』(講座・図書館情報学 1) ミネルヴァ書房, 2014

会員の皆様が図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局まで1部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

(事務局)